

今、高校生が考える生成AIとの付き合い方 —「誤情報・偽情報」を超えた活用法を考える—

開催地：高知県 グループ： カワウソ班 2024.07.29

生成AIの今までとこれから

生成AIの今まで

人の生活を豊かにする

自動運転

音声案内

など

偽情報や誤情報による問題

利益を求めた偽情報

例) ○○を食べると病気が治る

他社（他人）のイメージを下げる

例) マクドナルド「ミミズ肉」

今までのAIになかったもの

AIは誤情報などの問題はあるものの

素早く物事を進めることが出来たり、**便利に物事を進める**
ことが出来る。

しかし、AIの応答に「**冷たさ**」や「**機械的**」
「**合理的**」な印象を感じることがある。



これからのAIの活用

AGI（汎用性人工知能）を使って今までのAIのレベルを上げる。



AGI（汎用性人工知能）

人間の知能を模倣し感情や考え方を理解し学ぶことが出来るAI。

例）料理のメニューを考える



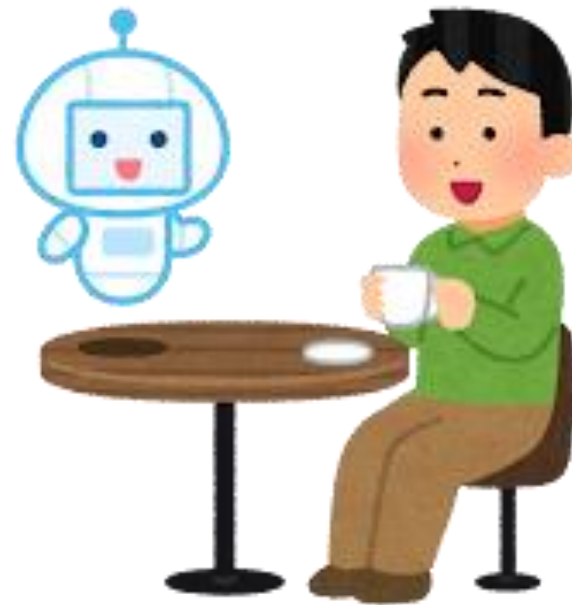
人の一日の行動から体調や気分を考え適切な料理を考える
人の考えや気分を理解した人間に近い考え方を持つAI



AGIの活用

- ・ AIによる **育児・介護**
- ・ **家庭教師**ロボット
- ・ 部活動の練習ロボット
- ・ **カウンセリング**

今までの機械的な応答から
人の気持ちを考え寄り添った愛のある応答へ



今までのAIに「心」を！

機械的で冷たいAI



心を持つ温かいAI



ご清聴ありがとうございました。

